

	B.C. 3,000 年	B.C. 1,000 年～ 0
欧米		<ul style="list-style-type: none"> • ヒポクラテス(B.C.460頃～B.C.375頃) 古代ギリシアの医学者。西洋医学の基礎を築き、「医学の父」と呼ばれる。マッサージの重要性を説く。 • テオフラストス(B.C.373頃～B.C.287頃) 古代ギリシアの哲学者。アリストテレスの弟子。植物の分類や系統だった研究を行い、「植物誌」を著し、「植物学の祖」と呼ばれる。
西・中央・南アジア	<ul style="list-style-type: none"> • 古代エジプト文明 芳香植物は薫香(お香)と浸剤(ハーブティーやハーブオイル)などが主流。ミイラ作りに乳香(フランキンセンス)や没薬(ミルラ)などの植物が用いられる。 • アーユルヴェーダ インド、スリランカの伝統療法で3000年以上の歴史。医学・宇宙観・自然観を含む哲学でもある。賛歌集「リグ・ヴェーダ」(1500～1000頃)の中に源流。 	<ul style="list-style-type: none"> • ソロモン王とシバの女王の逸話 旧約聖書」の中に、アラビア南部の国シバの女王がイスラエルのソロモン王に贈った宝物の中に、乳香(フランキンセンス)や白檀(サンダルウッド)などの香料があったといわれる。 • アレキサンダー大王(B.C.356～B.C.323)とヘレニズム文化 東西の交流から「ヘレニズム文化」が生まれる。この頃、東西のハーブやスパイスが交易品として取引される。 • クレオパトラ(B.C.69～B.C.30) 美貌や教養だけでなく、香料を用いて異性を魅了。バラの花を愛す。
東アジア(中国・日本)		